

入場無料

## Part 1

6月7日(日)  
立教大学新座キャンパス 6号館 2階ロフト1

13:00 ~	『自由なファンシイ』(115分) 監督:筒井武文
	休憩
15:15 ~	『SHARING』立教ヴァージョン(99分) 監督:篠崎誠
	準備休憩
17:30 ~	公開シンポジウム(19:30終了予定) 登壇者:ジョアン・ベドロ・ロドリゲス、ジョアン・ルイ・ゲラ・タマータ、赤坂大輔、筒井武文、篠崎誠、日置圭一(ポルトガル語通訳)

## Part 2

6月13日(土)  
立教大学新座キャンパス 6号館 2階ロフト1

14:00 ~	『子供の時間』『幻影のニッポン』(各15分) 監督:篠崎誠
14:30 ~	『IEC LONG』(31分) 監督:ジョアン・ベドロ・ロドリゲス & ジョアン・ルイ・ゲラ・タマータ
	休憩
15:05 ~	『ヴィタール』(85分) 監督:塚本晋也
16:30 ~	公開シンポジウム(18:30終了予定) 登壇者:ジョアン・ベドロ・ロドリゲス、ジョアン・ルイ・ゲラ・タマータ、塚本晋也、篠崎誠、日置圭一(ポルトガル語通訳)

ジョアン・ベドロ・ロドリゲス(映画監督)

長編第1作『ファンタズマ』(2000)がヴェネチア国際映画祭コンペティション部門で上映される。新人監督として異例なことであり、その衝撃的な内容も合わせ大きな話題となる。続く第2作『オデット』(2005)で、カンヌ映画祭に参加。第3作『男として死ぬ』(2009)も各国の映画祭で上映され、2009年度のフランス「カイエ・デュ・シネマ」誌の年間ベストテンにランクイン。米国、日本等で全作品の回顧上映が開催され、2012年カンヌ映画祭批評家週間短編部門で審査委員長をつとめる。2000年代最も注目すべき映画監督の一人。

ジョアン・ルイ・ゲラ・タマータ(映画監督・美術)

ジョアン・ベドロ・ロドリゲスの初監督作である短編『ハッピー・バースデー』で主演を務めて以来、長年に渡る盟友であり、ジョアン・ベドロのこれまでの全作品の美術を担当してきた。ジョアン・ベドロ・ロドリゲスを主演に迎え、ジャン・コクトーの「人間の声」をモチーフに短編『火は上がり、火は鎮まる』を監督。長編映画『追憶のマカオ』(2011)では、ジョアン・ベドロ・ロドリゲスと共同監督、脚本も担当する。

筒井武文(映画監督・東京藝術大学大学院映像研究科教授)

東京造形大学に在学中から映画製作を開始。劇映画のみならず、ドキュメンタリーなど、多岐にわたる映像作品を手掛ける。主な作品として『レディメイド』(1982)『ゆめこの大冒険』(1986)『オーバードライブ』(2004)『孤独な惑星』(2010)『バツハの肖像』(2010)など。劇映画としての最新作が今回上映される『自由なファンシイ』(2015)であるが、同時に、現在、映画作家・松本俊夫を追った長大なドキュメンタリー作品『映像の発見=松本俊夫の時代』(全5部作)を製作中。

赤坂大輔(映画批評家・立教大学兼任講師)

立教大学卒業後、イタリア留学。1994年ポルトガルに渡り、現地での映画状況取材したのをきっかけにキネマ旬報などで批評活動を開始。1997年、1999年にアテネ・フランセ文化センターで「ポルトガル映画講座」をプロデュース、当時まだ日本で知られていなかったベドロ・コスタヤマヌエル・ド・オリヴェイラを紹介。2004年国立近代美術館で開催された「ブラジル ボディ・ノスタルジア」で講演を行う。以後、現在にいたるまでイギリス、イタリア、スペインなどの映画雑誌に寄稿。

塚本晋也(映画監督)

8ミリの自主製作映画『電柱小僧の冒険』(1987)が、1988年度ぴあフィルム・フェスティバルでグランプリを受賞。翌89年に発表した『鉄男』がローマ国際ファンタスティック映画祭グランプリを受賞したのを皮切りに、一気に世界中の注目を浴びる。以後、国内外を問わず数々の映画賞を受賞。ヴェネチア国際映画祭で二度審査員を務める。『六月の蛇』がヴェネチア国際映画祭コントロレンテ部門の審査員特別賞を、『KOTOKO』は同映画祭オゾン部門グランプリを獲得。70周年を迎えたヴェネチア国際映画祭の求めに応じて日本人として唯一短編映画を作った。

篠崎誠(映画監督・立教大学現代心理学部映像身体学科教授)

長編監督デビュー作『おかえり』がベルリン国際映画祭最優秀新人監督賞(ヴォルフガング・シュタウテ賞)、モントリオール世界映画祭新人監督グランプリなど国内外で11賞を受賞。続く『忘れられぬ人々』はナント三大陸映画祭で男優賞、女優賞をW受賞。第3作『犬と歩けば』は上海国際映画祭ニュータレント部門グランプリを受賞。北野武監督に関する2本のドキュメンタリー『映画監督 北野武』『ジャム・セッション』がある。共著に『黒沢清の恐怖の映映画史』(青土社刊)。

★なお、スケジュールは当日の進行により、若干変更となる場合がございます。

主催:立教大学 現代心理学部付属 心理芸術人文学研究所

共催:立教大学 現代心理学部

協力:ポルトガル大使館

★アクセス

■東武東上線、副都心線志木駅下車 徒歩約25分

路線バス(西武バス) 約10分 志木駅南口2番バス乗り場より「清

瀬駅北口行き」または「所沢駅東口行き」、立教前下車

志木駅南口「松屋」前専用バス停よりスクールバス(運行時間12:30~19:00、日曜運休 運賃無料)

■JR 武蔵野線 新座駅下車 徒歩約25分

路線バス(西武バス) 約10分 新座駅南口1番バス乗り場より「志木駅南口行き(北野入口経由)」、立教前下車 新座駅南口3番バス乗り場よりスクールバス 約10分(運行時間7:30~20:00、日曜運休 運賃無料)

本企画は、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業研究プロジェクト

「新しい映像環境をめぐる映像生態学研究の基盤形成」(平成23年~27年)の助成を受けて行います。

# 映画は変身する!

## The Metamorphosis of CINEMA

立教大学現代心理学部附属 心理芸術人文学研究所  
映像生態学プロジェクト 映画上映と公開シンポジウム

2015.6.7(日) / 6.13(土) 立教大学新座キャンパス 6号館 2階ロフト1

映像 *Image*

×  
時間 *Time*

×  
空間 *Space*

×  
身体 *Body*

×  
演技 *Acting*

×  
記憶 *Memory*



João Pedro Rodrigues × João Rui Guerra da Mata × Takefumi Tsutsui × Daisuke Akasaka × Shinya Tsukamoto × Makoto Shinozaki

